2026年11月13日

各　位

会社名　　ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO　小野 有理
（コード番号 6699　東証スタンダード市場）
問合せ先　　専務執行役員 CFO　徳原 英真
（TEL　06-6302-8211）

剰余金の配当（中間配当無配）・期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金配当（中間配当無配）・期末配当予想の修正について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．剰余金の配当・期末配当予想の修正について

（１）剰余金の配当（中間配当無配）の内容

	決定額	直近の配当予想 （2026年５月15日公表）	前期実績 （2026年３月期 第２四半期）
基準日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	0円00銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	－	－	115百万円
効力発生日	－	－	2025年12月22日
配当原資	－	－	その他資本剰余金

（２）期末配当予想の修正

１株当たり配当金			
基準日	第２四半期末	期末	合計
前回予想	12円50銭	12円50銭	25円00銭
今回修正予想	－	25円00銭	25円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績（2026年3月期）	12円50銭	12円50銭	25円00銭

（３）理由

当社は、配当につきましては、長期的視点に立って企業体質の一層の強化及び将来の成長分野への投資のために必要な内部留保を確保しながら、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点において公表数値を据え置き、計画達成に向けた各種施策を全社一丸となって推進しております。

しかしながら、中間配当時点では分配可能利益は確保できているものの、足元の外部環境におきましては、エネルギーソリューション事業のサイバーセキュリティ新規格（JC-STAR★）の取得遅れを起因とする業績悪化により、グループ主要事業会社であるダイヤゼブラ電機株式会社の減損リ

スクが無視できない程度に高まりつつあります。これらに鑑み、当社グループといたしましては、不測の事態に備えた手元流動性の確保および財務基盤の安定性維持を最優先課題とし、東証上場企業による会計不正大問題を発端とした 、企業ガバナンスに対する投資家様等の市場関係者の厳しい目線を意識した会社法の厳格な遵守、及び極めて慎重かつGoing Concernに鑑みた、キャッシュ・マネジメントを行う必要があると判断いたしました。

つきましては、誠に遺憾ではございますが、当期の中間配当につきましては見送らせていただき、「無配」とすることを決定いたしました。

なお、期末配当予想につきましては、年間の配当方針および株主の皆様への還元意欲を極力維持すべく、今回見送らせていただきました中間配当相当額を期末配当に合算し、1株当たり25円0銭（前回予想比12円50銭増配）へ修正いたします。ただし、今後の外部環境の変動等により業績に重大な影響が生じる場合には、改めて精査の上、速やかに見直しを公表いたします。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以　上